

事務事業名		大船渡市畜産公社運営事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																															
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間																															
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興																																	
	基本事業名	01 農業経営の安定化		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和60 年度 ~)																															
根拠法令				☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																															
所属	部課名	農林水産部 農林課		予算科目 会計 款 項 目 事業 予 算 な し																															
	係 名	農政係	電話 0192-27-3111 内線 344																																
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・大船渡市畜産公社の事務局職員として、運営に関する事務用務を行う事業。大船渡市農協と市が共同で設立した第3セクター「社団法人大船渡市畜産公社」では、牧場経営を行い、畜産農家の夏期預託を実施することにより、夏場の生産者の労力を軽減している。これによって、農家では冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担も軽減できる。 ・公社事務局員は8名(兼務)で、事務局長(農協営農部長)、総務部長(市農林課長)、事業部長(農協畜産課長)、事業担当者2名(農協職員)、総務担当者3名(市職員)で組織されている。事務局は農協内に設置されている。公社の主な収入は牛預託料、運搬料等で、主な支出は看視員1名の給与、牧場の管理運営費等である。 ・総務を担当する市職員の主な業務は、総務的業務(予算決算事務、出納事務等)である。 ・人件費以外に市が負担する事業費は発生していない。																																			
全体計画(期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源				事業費計 (A)	0	人件費		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0			トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金																																	
		都道府県支出金																																	
		地方債																																	
		その他																																	
		一般財源																																	
		事業費計 (A)	0																																
人件費		正規職員従事人数																																	
		延べ業務時間																																	
		人件費計 (B)	0																																
		トータルコスト(A)+(B)	0																																

1 現状把握の部 (DO)										
(1) 事務事業の目的と指標										
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・公社の総務的な業務 (総会・運営委員会等会議資料の作成、予算の調整、収納事務等)					活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
					ア	夏期預託頭数			頭	
					イ	夏期放牧日数(5/18～11/27)			日間	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度と同様					ウ					
					対象指標(対象の大きさを表す指標)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 (直接の対象) 大船渡市畜産公社 (間接の対象) 市内外の肉用牛を飼育している畜産農家					名称				単位	
					カ	畜産公社決算額(歳出)			千円	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・夏期預託により、夏場の生産者の労力を軽減する。 ・夏期預託により、冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担が軽減できる。					キ	市内肉用牛飼育畜産農家数			戸	
					ク					
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・農産物が安定して高く売れる。					成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	1頭あたり平均夏期預託日数			日	
					シ	牛1頭当たり推定費用軽減額			千円	
					ス	(飼育日額500円-預託日額190円)×夏期預託日数				
(2) 総事業費・指標等の推移										
				年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
			都道府県支出金	千円						
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
			事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	50	100	100	100	100	100	
		人件費計(B)	千円	200	400	400	400	400	400	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	200	400	400	400	400	400
活動指標		ア	頭	230	241	218	198	222	153	
		イ	日間	165	192	195	193	194	195	
		ウ								
対象指標		カ	千円	5,854	6,424	6,899	6,704	6,325	6,026	
		キ	戸	78	72	72	69	58	53	
		ク								
成果指標		サ	日	120	116	121	112	111	101	
		シ	千円	37.20	35.96	37.5	34.79	34.41	31.31	
		ス								

事務事業ID	533	事務事業名	大船渡市畜産公社運営事業
--------	-----	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・旧三陸町当時の昭和60年4月、畜産経営の合理化と農業労働の効率化を図り、もって、農業生産性の向上と畜産農家等の経営安定に寄与することを目的に社団法人三陸町畜産公社が設立されたのがはじまり。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・畜産農家経営者の高齢化が進むなか、畜産経営の合理化と農業労働の効率化を図る上で、畜産公社の役割はより重要なものとなっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ・夏期預託により、夏場の畜産農家の労力軽減が図られ、農家では冬場の飼料生産が可能になり、冬場のえさ代負担の軽減も図られる。もって、畜産農家の経営安定が図られ、市の農業振興に結びつく。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ・大船渡市畜産公社は、市農協と市が共同で設立した第3セクターであり、畜産農家の経営安定を図り、市の農業振興を図るための事業であることから、関与は妥当。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ・夏期預託により、畜産農家の夏場の生産者の労力を軽減し、冬場の飼料生産を可能とする事業であり、対象、意図は妥当。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] ・預託頭数を増頭できれば成果は向上するが、小規模の畜産農家が多く、現状では難しい状況である。増頭に向けた対策の検討が必要。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ・本事業の廃止は、畜産農家の過剰労働及び経営の悪化につながる恐れがあり、継続が必要。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ・他に類似事業は無く、統合できない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・事業費は計上されていない。人件費のみ。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・畜産公社の事務局職員として、運営に関する事務を行うための最低限の人件費であり、削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ・牧場利用者は、牛預託料、運搬料を支払っており、費用負担は公正である。

事務事業ID	533	事務事業名	大船渡市畜産公社運営事業
--------	-----	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成22年度は、前年度に比べ預託頭数が減り、公社の収益が落ちている。預託頭数の増頭に向けた対策が必要。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・畜産農家の経営向上に資するため、今後とも、事業の継続を図る。 ・預託頭数の増頭を図るための対策が必要。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農林課長
-------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 預託頭数の増頭に向けた対策の検討は必要だが、小規模の畜産農家が大半を占める現状では困難と思われる。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する中で、増頭対策を検討していく。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
